

協定面積 (ha)	田	39.2	対象農用地 (ha)	田	39.2	対象資源	数量
	畑	6.9		畑	6.9	農用地	46.1ha
	草地	—		草地	—	開水路	13.9km
	計	46.1		計	46.1	パイプライン	10.1km
組織の構成員	農業者：100人 非農業者：10団体				ため池	—	
					農道	18.6km	

地域の紹介

当地域は県営ほ場整備事業にて整備された稲作地帯である。東に富士山、西に活動組織名の由来となった「天子ヶ岳」を仰ぎ、地域の中心には清流半野川が流れている。事業により区画整理された水田には逆さ富士が映り、清涼な景観を有する富士宮市内でも有数の米どころとなっている。



耕作放棄地解

活動内容

- ・農地の保全や、水路・農道の点検・補修
- ・地区外耕作放棄地の解消
- ・地域一丸となり植栽した彼岸花ロードの整備
- ・大学（日本大学生物資源科学部）と連携した農村環境の保全活動



彼岸花ロードの整備

地域の将来像

日本の原風景である素晴らしい農村景観を地域の財産として後世に引継ぐために、次世代を担う若い世代と共に地域財産の保全活動を展開していきたい。また一社一村しずおか運動を活用し、大学との協働活動により地域の活性化を図っていきたい。



彼岸花の植栽に励む子どもたち

課題

農業者の高齢化や農業後継者の減少が進む中、農地・農業用施設・農村環境の重要性を地域住民の共通認識とし、より若い世代の参画を促す必要がある。

抱負・コメント

彼岸花ロードを更に延長し、地域一体となって景観の向上活動を展開していく。また、解消した耕作放棄地を活用し、大学との協働により高原野菜等の栽培等も検討していきたい。

